



日本全国 能楽キャラバン

# 庄内公演

庄内町 響ホール

舞囃子「阿古屋松」 親世三郎太

狂言「鍋八撥」 野村 万作

異流共演能「龍虎 大勢」 宝生 和英 金剛 龍謹

令和4年 **12月13日** (火) 開場 17:00 開演 18:00

チケット販売 ▶ 10月11日(火)より

S席 10,000円 A席 9,000円

B席 7,000円 学生各席半額

チケット取り扱い 庄内能楽館 / 響ホール / チケットぴあ

お問い合わせ先 公益財団法人 庄内能楽館

TEL 0234-33-4568 (平日 午前10時～午後5時)

FAX 0234-43-0533

主催 / 公益社団法人 能楽協会 公益社団法人 宝生会

共催 / 公益財団法人 庄内能楽館



- 舞台と客席との十分な距離を取り、安心してご鑑賞できるように努めております。
- お客様には、マスクの着用、入館時の検温、手指の消毒、連絡先の記載をお願い致します。
- 都合により、中止や延期、内容を変更する場合がございます。

# 八鳥

小倉健太郎  
武田 孝史

辰巳大二郎  
辰巳満次郎  
和久莊太郎  
今井 基

# 阿古屋松

観世三郎太

大鼓 亀井 広忠  
小鼓 大倉源次郎  
太鼓 小寺真佐人  
笛 藤田 貴寛

地謡 坂口 貴信  
角 幸二郎  
上田 公威  
山階彌右衛門  
浅見 重好

# 鍋八撥

鍋売り 野村 万作

目代 内藤 連  
羯鼓売り 野村 裕基

後見 中村 修一

# 龍

## 大勢

龍 金剛 龍謹  
虎 宝生 和英  
僧 森 常好  
大鼓 亀井 広忠  
小鼓 大倉源次郎  
太鼓 小寺真佐人  
笛 藤田 貴寛

仙人 中村 修一  
内藤 連  
飯田 豪  
野村 裕基

後見 武田 孝史

小倉健太郎

辰巳大二郎

今井 基

地謡

田崎 甫  
野月 聡  
當山 淳司  
朝倉 俊樹  
東川 尚史  
辰巳満次郎  
和久莊太郎  
大友 順

終演 20時半頃

## 阿古屋松

(作者)「申楽談儀」に「西行、阿古屋松、おほかた似たる能なり。後の世、かかる能書く者やあるまじきと覚えて、この二番は書き置くなり」とあり、応永三十四年十一月奥書の世阿弥自筆本(観世文庫蔵)が残っているので、この時点での世阿弥の新作と考えられる。

(梗概)新任の陸奥国司藤原実方(ワキ)が従者(ワキツレ)をつれ、紅葉狩をかねて国情視察・歌枕探訪に出かけたところ、木樵の老人(前シテ)があらわれる。実方の問いに答えて、老人は歌枕・阿古屋松のいわれを語り、実方たちを出羽国の阿古屋松まで案内し、自分は塩竈明神であると明かして塩竈に帰っていく(中入)。阿古屋松の木の下での実方の仮寝の夢の中に、塩竈明神(後シテ)があらわれ、阿古屋松の歌を謡い、松のめでたさや全国の松の名木を数え尽くしたのち、実方の都での評判の舞いを舞い、阿古屋松に木隠れて消える。

## 鍋八撥

所の目代が新しく市を立てるのに際し、一番最初に店の場所をとった者をその市の代表と認め免税するという高札を出す。それを見て夜明け前に一番乗りした羯鼓売りが、ひと寝入りしていると、一足遅れて浅鍋売りがやってくる。先を越された浅鍋売りは、羯鼓売りの傍ら割り込むように寝入る。目を覚ました羯鼓売りは、一番乗りをめくり浅鍋売りと争いを始め、目代が仲裁に入るのだが…。

## 龍虎

日本の僧が仏法東漸の跡を訪ねて唐土に渡ると、ある山で柴を背負った老人と若者に出会います。僧が遠くに見える竹林に雲が急にかかり、風が凄まじく、恐ろしい景色について老人に尋ねると、あそこは虎の住処で、向こうの高山から雲がかかると龍が下りてきて龍虎の戦いが始まるのだといいます。老人は、僧に岩陰で隠れて見るように言い残して里に帰っていきます。僧が竹林に近づき、岩陰に隠れていると、龍が黒雲から下り虎が岩洞から現れ、龍と激しく戦います。風を起こす虎と雲を駆使する龍の豪快な戦いは人間が威勢を争うことと同じで人間界の争いも無意味なことだと諭すような語り特徴的です。

当公演は字幕解説「能サボ」をご利用いただけます



\*お手持ちのスマートフォン、タブレットに舞台上演に合わせた字幕解説が自動的に表示されます(日本語・能のみ)。

\*事前にQRコードから「G・マーク」アプリ(無料)をダウンロードしてください。

\*当日ロビーでのご案内もいたします。

<http://www.g-marcapp.com/>

※公演中は必ず機内モードとマナーモードにしてご利用ください。

※周りのお客様へご迷惑にならないようご配慮ください。

